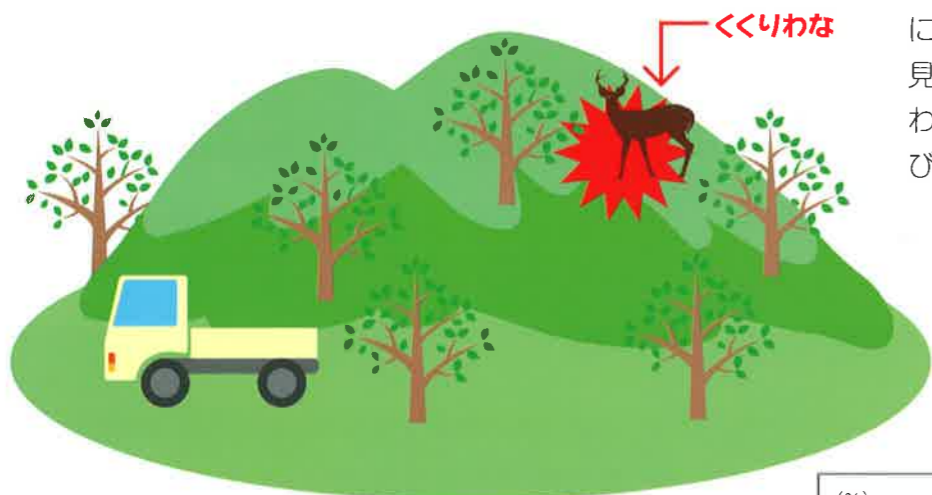


毎日の作業を楽に

獲物の搬出や見回りの効率も考えましょう

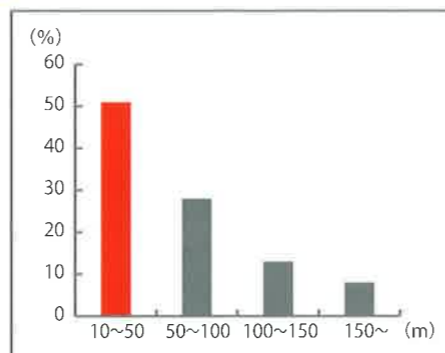
搬出のしやすさを確保



捕獲したシカを搬出するには、車を止める場所から見て斜面の上の方にくくりわなを設置したほうが、運びやすいです。

車からの距離10~50m

先輩ハンターが設置したくくりわなは、約50%が車を置いた所から10~50m以内にあることがわかりました。道からあまり遠くならず良い場所を見つけるほうが効率がよいようです。



見回りしやすい工夫

見回りは1日1回が理想です。空はじきしている可能性もあるので、マメに見回らなければなりません。車から降りて少し歩けばすぐ見える斜面上などにわなを設置しておけば、見回りも楽にできます。事故防止のため、少し離れた場所から確認できるような所に設置することも工夫の一つです。



先輩ハンターに聞く!

「くくりわな」でシカを捕獲する方法

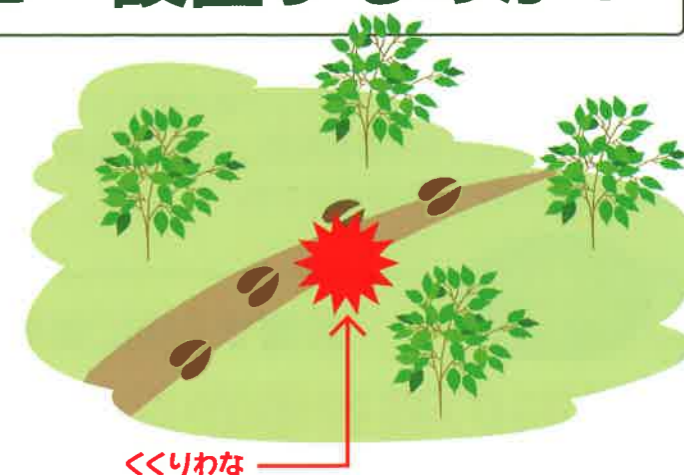
先輩ハンターへ聞き取り調査を実施し、くくりわな設置場所の傾向やアドバイスをまとめました。

まず場所を選ぶ

くくりわなはどこへ設置するのか?

まっすぐな けもの道に設置

くくりわなは、シカが歩いている一步を狙って捕獲する道具です。曲がっている道よりもまっすぐな道のほうがシカの踏む位置を狙いやすくなります。



ワンポイント
アドバイス

シカの踏む位置を見つけるには?

けもの道上のへこんでいるところに注目!

下見や見回り際には、けもの道上をよく観察します。すると、けもの道の上でも土がへこんでいたり、落ち葉がなくなっていたりします。また、その中でも新しい痕跡や足跡を見つけて設置するとよいでしょう。

ワンポイント
アドバイス

設置しないほうがよいところは??

太いけもの道には要注意

特にクマが生息している地域において、クマが通るような大きなけもの道にはわなを設置しないように注意しましょう。



先輩ハンターに聞く! 「くくりわな」でシカを捕獲する方法

製作 一般社団法人 栃木県猟友会

協力 滝 栄 (栃木県猟友会日光支部) 猪瀬 寿 (栃木県猟友会日光支部)

黒沼貞夫 (栃木県猟友会安蘇支部)

高橋 孝 (栃木県猟友会塩谷支部) 和気与吉 (栃木県猟友会塩谷支部)

発行 栃木県環境森林部自然環境課

平成26年3月

実践してみよう!

だまして捕る！設置に技あり！

カモフラージュ方法

くくりわなを設置した所をいかに元の状態に戻せるかが重要です。においを残さず、けもの道を再現する“カモフラージュ”が必要です。



●土と葉をかぶせて隠す

掘った土を元に戻し、スコップ等で軽くならすことで自然なけもの道を再現します。落ち葉がある場合は落ち葉もかぶせます。

●ワイヤーを土で隠す

くくりわなの存在をシカに知られないようにするのがポイントです。ワイヤーも土から出ないように注意しましょう。

ワンポイント
アドバイス

設置する時に気を付けるポイントは??

けもの道を歩かない！無駄に周囲を掘らない。

けもの道に人のにおいが付ければ、シカは避けて通ります。けもの道の横を歩くように注意しましょう。また、無駄に周囲を掘ると気づかれやすくなるので、くくりわな設置箇所だけを掘るようにしましょう。

ワンポイント
アドバイス

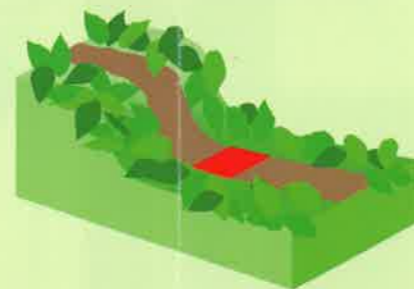
より確実にくくりわなを踏ませるにはどうしたら良い??

段差の下に設置する。 なければ横木で代用！

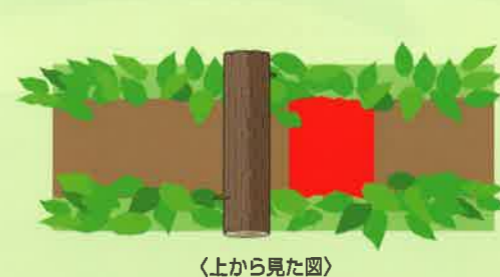
けもの道を良く見て自然に段差ができている場所を探します。段差の下部はシカが踏みやすいポイントです。段差がない場合は、横木などを利用してシカが踏みやすいポイントを作ることも重要です。けもの道が複数ある場合、シカが通る道を制限するために枝を垂直に刺すなどの工夫もあります。

シカの踏み位置 と 横木 の置き方

●自然にできた段差の下部



●段差がない場合



〈上から見た図〉

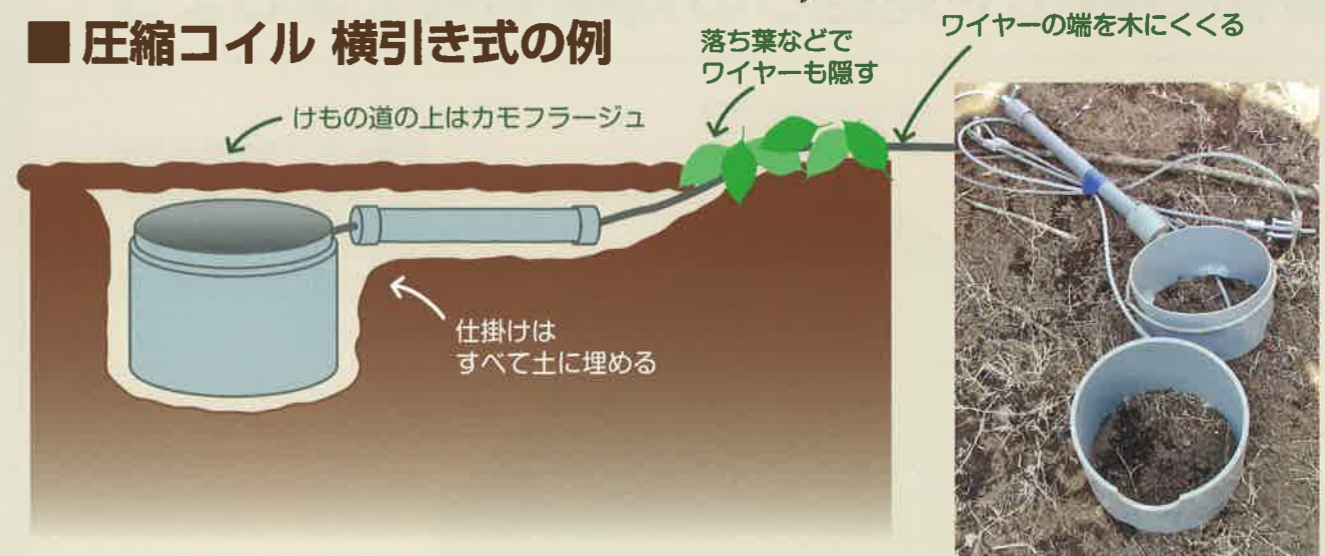
●斜面に横木を置く場合は
下側に置く



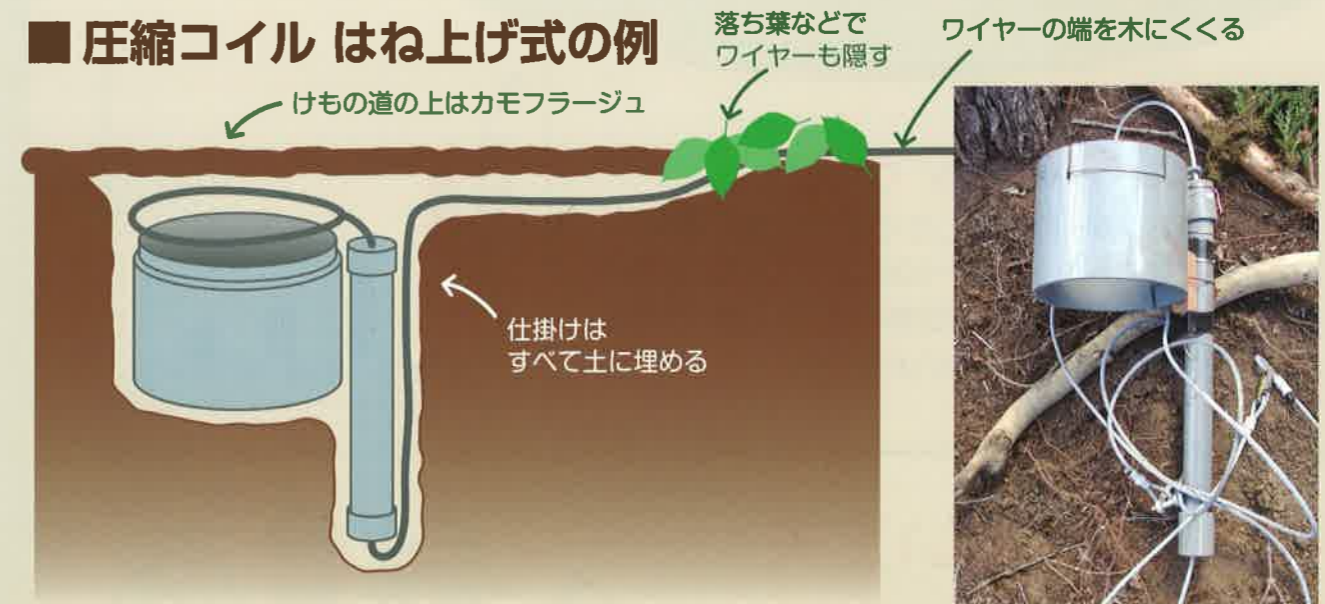
〈横から見た図〉

中はこうなっています。

■ 圧縮コイル 横引き式の例



■ 圧縮コイル はね上げ式の例



どちらもくくりわなを埋める場所だけを掘って、その周囲は荒らさないようにします。